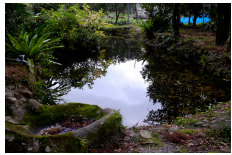


a004010 永田区 永田岳神社／永田岳神社大祭	概要 適用
 <p>a004010001)</p>  <p>a004010002</p>  <p>a004010003</p>  <p>a004010004</p>  <p>a004010005</p>  <p>a004010006</p>  <p>a004010007</p>	<p>概要 適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の神様。 祭祀: 天津日高彦火火出見命 (アマツヒコホホデノミコト) ・この神社の元の場所は現在の神社より山側にあったと言われる。 ・巨岩が拝殿横にあり、正面に「南無妙法蓮華経 萬霊位 明暦3年(1657年2月大吉日)とある。 ・ご神体は永田岳 (益救神社宮司・大牟田氏談)。社内のご神体は4面とも真っ白な7寸画の屋久杉であるはず(柴鐵生氏談)。 ・日増上人の来島から169年後であり、この題目は法華宗の力を永田住民に示すため、当時の僧侶が万霊を供養し、悪疫、災害の除去、村人の健康、作物の豊作を祈り、神社をこの時に移したものと考えられる。 ・古くは益救神社の摂社格として、益救神社の例祭の時には永田岳神社の神官が出向する習わしがあった。 ・永田岳の岳参りはこの神社で参拝してから、登り始める。 ・民家の中心にあり、すぐ近くに中山神社がある。 <p>永田岳神社大祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年1月5日。益救神社の大牟田宮司により、神事が行われた。(旧暦齒11月23日)近年は正月明けの1月5日に大祭が執り行われている。この日は平日ということもあり、永田の消防団が多く参加し、住民は20人ほど。「なおらい(神事の後に行う食事)」は各部落が当番制で行っている。 <p>参考文献 柴鐵生氏・吉村保子氏の聞き取り調査</p> <p>写真コメント</p>



a004010008



a004010009



a004010010



a004010011



a004010012



a004010013



a004010014



a004010015



a004010016



a004010017



a004010018



a004010019

a004010001.JPG

a004010002.JPG

a004010003.JPG

a004010004.JPG

a004010005.JPG

a004010006.JPG

a004010007.JPG

a004010008.JPG

a004010009.JPG

a004010010.JPG

a004010012.JPG

a004010013.JPG

a004010014.JPG

a004010015.JPG

a004010016.JPG

a004010017.JPG

a004010018.JPG

a004010019.JPG

a004010020.JPG



a004010020